

# しんあい

発行日：平成22年3月1日

●特別養護老人ホーム裕生園  
●ケアハウス シヤトル  
●グループホーム たちばな  
●きんかん 小規模多機能ホーム  
〒880-2221  
宮崎県宮崎市高岡町内山 2407-3  
TEL.0985-82-0196(代)  
メールアドレス  
yuseien@qtnet.ne.jp

発行：社会福祉法人 信愛会 ホームページ <http://www.sin-ai.or.jp>

第  
23号



綾町の馬事公苑の花時計前で

「あいさつ」



裕生園園長

辰元 圭子

昨年ほど「チェンジ」という言葉が多く語られたことはありませんでした。米国のオバマ大統領も「チェンジ」という言葉で選挙戦を戦い、国民の多くの支持を得てオバマ大統領にチェンジし、我が国もまた、長年の自民党政権が民主党政権にチェンジしました。私どもの社会福祉法人信愛会も理事長の死去により、新理事長にチェンジしました。また、今年になり宮崎に於いても長年の津村市長の勇退により新市長が誕生しました。

このように多くの「チェンジ」がありました。この「チェンジ」という言葉には何か新しく期待をするという人々の願いが込められていると思われませんか？ アメリカも日本も良い国づくりが出来るかどうか？ 政権交代が現実になり、政権に期待しつづいても容易には政権が進まず、危機意識からなる世直し作業であり、国民も厳しく一喜一憂している今日です。世界の経済も低迷しており、日本の医療・福祉も先を見ずして行かなければなりません。施設も有資格者の職員の数を求められていますが、一方で介護福祉の専門学校が一枚なくなり、新年度を迎えるにあたり、昨年から求職者が異業種からの転職・リストラ等により未経験者を優先しての雇用の依頼が多く、未経験者の教育実習から始めることが多くあります。だから事故対策や、サービスの質の向上に一層の努力をしなければ、と思います。

大きな試練の時代は当分続くであろうと思われませんが、夢と希望にあふれる志を持って、皆で努力してこそ新しい道が見出されると思います。



# 辰元忠初代理事長 逝く



平成二十一年六月二十六日、社会福祉法人信愛会の初代理事長で辰元グループの総帥だった辰元忠（ただし）が永眠しました。七十四歳でした。同月二十八日（日）小雨の中、宮崎市高岡町の葬祭場で告別式が営まれ、約千人の弔問客が別れを告げました。昭和五十二年に旧東諸県郡高岡町（現在宮崎市高岡町）に特別養護老人ホーム裕生園を開設したのを皮切りに、辰元病院、有料老人ホーム信愛園、老人保健施設信愛ホーム、ケアハウスシャトル、グループホームたちばな、セントラルキッチンたつもと、アルテンハイム・グジブランドと、次々に高齢者医療・保健・福祉施設を開設し、宮崎市生目（いきめ）に「さんかん」小規模多機能ホームをオープンして、その三ヶ月後に亡くなったのでした。

先見性と実行力で今日の辰元グループを築き上げた前理事長ですが、その強烈な個性ゆえのエピソードも数多く残しました。現在、辰元グループの幹部職員やOB、ゆかりのあった方々による追悼文集の制作が進んでいます。前理事長の足跡と思いをしっかりと心に刻み込んで、私たち職員は悲嘆にくれることなく、前向きに、前理事長の遺志を継いで頑張つて行こうと思います。

## 弔辞

皆様、本日、葬儀委員長を御務めさせて頂きました、辰元病院院長の川崎涉一郎でございます。今日は、この様に大勢の皆様にお見送りいただき、故人もさぞかし喜んでいらっしゃるものと思います。

故人は、先見の明に大変優れた方で、次々に新しい事業を展開され、現在の辰元グループは、職員総数が400名近くにもなる大きな組織に育っております。

今日、別の世界に旅立たれましたが、あの先生のことですから、もう、早速あの世界できっと新しい事業の展開の構想を練っておられるのではないかと、思うのであります。また、仏教では、輪廻転生と、言う言葉がございます。私どもの医学の道、自然科学の世界では、この様なことはあり得ませんが、今日は、心の中では、この教えを信じてみたいと思います。

現世の私どもが納得の行く仕事をして、キレイな蝶が舞って来た時は、お褒めの言葉を頂いているのかも知れません。蜂やアリのチクリと刺された時には、きつとお叱りをうけているのかも知れません。

しかしながら、現世に残されました私どもは、お身体のご不自由な大勢のご高齢の方々をお預かりしておりますので、一時も立ち止まることは出来ないものであります。それゆえ、私どもは、故人のお叱りを受けない様に、しっかりとこの大きな辰元グループを守ってまいりますとともに、更なる発展を目指し、故人のお褒めの言葉を頂けるように努力する所存でございます。本日、御会葬頂きました皆様方におかれましても、今後ともこの辰元グループに温かいご支援を賜りますようお願い申し上げます。本日は、皆様方の貴重なお時間を頂いてご会葬頂き、大変有り難うございました。

平成二十一年六月二十八日  
川崎 涉一郎



## 辰元信新理事長誕生

辰元忠前理事長の死去を受けて、去る平成二十一年七月九日、社会福祉法人信愛会は理事会を開催し、新理事長に辰元信（まこと）（四十一歳）を選出しました。辰元信新理事長は、故辰元忠前理事長の長男で、現在辰元病院に医師として勤務。これまでに宮崎医科大学附属病院、宮崎県立日南病院、都城医師会病院、宮崎市郡医師会病院等に勤務して来ました。社会福祉法人の理事長となつて、医師の仕事とは別に利用者の運動会や敬老会などのいろいろな施設行事にも参加し、ますます多忙な毎日です。



理事会で理事長に選出され、あいさつをする辰元信新理事長

### 理事長就任のごあいさつ

信愛会理事長 辰元信

みなさま、初めまして。こんにちは。  
今年父である、前理事長の死去とともに新しい理事長として務めさせていただくこととなりました。私はこれまで宮崎大学医学部附属病院の第一内科に所属し、専門は循環器内科という心臓の内科医として勤務しておりました。県内の病院を回り、都城や宮崎の救急病院に勤務したのち、辰元病院に帰ってきてちょうど一年が経った時に、父が亡くなったこととなります。すなわちまだまだ施設や病院について分からないことも多く、これからも職員の方々と地域の方々いろいろなご迷惑をおかけすることも多いのではないかと思います。ここ高岡の地で、父がクリニックを開始したとき自分は十歳でした（現在は今年厄年の四十二歳になります）。その後さまざまな施設が増え、多くの職員の方々に参加いただきこれまでやってこられたと思います。これからも宮崎や高岡の地域の皆様にも、ますますのお力添えをいただき、高齢者の皆様や体の不自由な方々の少しでもお役に立てるよう努力して行きたいと思っております。  
みなさま、これからよろしくお願ひします。

## ニュースフラッシュ



### 県内最高齢者 植村コトコさん逝く

平成二十一年六月から宮崎県内最高齢だった植村コトコさんが、平成二十二年一月二十一日に裕生園で永眠されました。百十一歳でした。最後まで、声かけにはにっこりと笑顔で応えていたコトコさん。静かに安らかに天寿を全うされました。裕生園で過ごされた十年近くの歳月の思い出を、私達はこれからも大事にして行きます。

ありし日の植村コトコさん。  
高岡町の月知梅公園にて（平成16年2月、105歳）

### 職員の表彰めぐり

平成二十一年度は職員の表彰があいづきました。それぞれの分野での長年の功績が認められました。本当におめでとうございます。



厚生労働大臣表彰を受け  
た左から宮田トク子氏、  
西園脩子氏



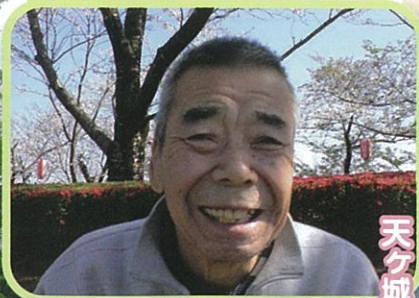
全国社会福祉協議会会長  
表彰を受けた松浦玉子氏



宮崎県知事表彰を受けた  
楠元剛志氏



去川の大いちよう



天ヶ城公園の桜



西都原へ遠足



# 明るく楽しい 園生活



裕生園の遊歩道にて



## 夏祭り



## もちつき





# ケアハウス シヤトル



レクリエーション風景



宮崎神宮に初詣で



5月  
こいのぼり運動会



クリスマス会にて



鬼と一緒に、節分



ケアハウスシヤトルで特定施設入居者生活介護サービスの提供を開始しました。

ケアハウスシヤトルでは、平成二十二年一月一日より「特定施設入居者生活介護」サービスを開始しました。特定施設入居者生活介護（介護予防も含む）とは、施設という文字が付いていますが、介護保険上はグループホームなどと同様に在宅サービスの一つで、要支援1から要介護5までの方が入居できます。入浴・排泄・食事などの介護や機能訓練及び日常生活上の世話などのサービスを提供するものです。

もともとケアハウスは、在宅で生活するには何らかの不安のある高齢者の方に住居と食事などのサービスを提供する入居施設で、ある程度自分の身の回りのことはできる方が対象となっています。しかし、最近は入居者の高齢化等に伴い、要支援、要介護の認定を受けておられる方が半数以上を占めていました。介護が必要⇒退居という不安を持たれていた方もいらっしゃると思いますが、シヤトルで介護サービスを受けることができるようになりました。また、夜勤者を配置して二十四時間体制になりましたので、入居者やご家族の方にとっては、夜間に対する不安が軽減されたのではないかと思います。今回、シヤトルでは宮崎県より定員五十名のうち特定施設として二十七名の指定を受け、現在、十七名の方が特定施設サービスを受けておられます。

指定にあたっては、看護職員、介護職員、介護支援専門員等と大幅に増え、シヤトル全体が活性化されるのではないかと期待しています。また、これまではケアハウスの性格上、個人の生活を尊重したサービス中心でしたが、今後は、施設として全体的なレクリエーションや余暇活動の充実を図る取り組みに力を入れていかなければならないと思います。スタッフ一丸となって、より良いサービスが提供できるような努めていきたいと思っております。



# グループホーム たちばな

グループホーム たちばな 管理者 長友美紀

今日も♪とんとんとんからりと隣組♪と、軽快な歌声がこだましている。利用者の方々にとっては懐かしい歌「隣組」である。この曲の歌詞に「知らせられたり、知らせたり」「教えられたり、教えたり」「助けられたり、助けたり」「まとめられたり、まとめたり」と、出てくるが、殺伐とした現代の社会で失われつつある光景である。今後、年々「独居」「老老介護」「うつ病」そして「認知症」が益々増加する中で、「支え合っていく」ことの必要性が問われるのではないだろうか。

十九年度より、宮崎市が中心となり、認知症を理解し支援する一環として、各地域包括支援センターと協同で認知症サポート養成講座を開催していますが、その講師役「キャラバンメイト」として、たちばなの職員も四名研修を受け、これから高岡地区で活動、協力を開始するところです。人間ひとりでは決して生きていけないものはありません。利用者の方々はもちろんですが、地域の在宅の高齢者の人々との関わりを深め、これからも地域密着施設として地域の人々、そして御家族等利用者の方々との関わり合う人たちとの「愛ある絆」を大切に、日々真心のこもったケアに職員一同努めて行きたいと思えます。



それ行け、アタック!

真剣そのもの、  
気合の一筆。



とれたよ～!  
大きなおイモが!

# きんかん小規模多機能ホーム



昨年3月に生目浮田地区にオープン致しまして、登録者も二十名(通所十四名、十五名)(訪問五名)(泊り六名、八名)となりました。地域密着型施設として浮田地区に根付いてきております。

周りの農家さんよりお花・野菜・米を「余ったから食べてくれない。」と頂くこともしばしばです。地区の方々が気軽に立ち寄って頂けるようになります。

現在は職員十三名がちからを合わせて、お年寄りの気持ちに向き合い寄り添う介護を目指してますますの努力を致して参ります。



大淀学習館での  
水族館見学(美味しそう!)



太平洋での命の洗濯  
道の駅フェニックス



花の女王決定?  
西都原コスモス見学



16キ口のすいか割り  
思わず力が入ります



きんかん畑のトマト  
初めての収穫!!



## 利用者のために！



たかおか居宅介護支援事業所  
ケアマネージャー 岩見 契子

私は、在宅のケアマネジャーとして、たかおか居宅介護支援事業所に勤務し2年目になりました。私が福祉の仕事と出会ったのは、平成12年に介護保険制度が始まると同時に介護事務員として、高岡町社会福祉協議会のデイサービスに採用されたのがきっかけです。

しばらく一般事務の仕事をしていましたが、忙し中でも常に介護職員の明るくそして丁寧な対応で、利用者の方々が「今日もデイサービスに来てよかった」と言って帰られる姿を見ていて、「私も同じ様に利用者の方々の役に立ちたい！」との思いが日に日に強くなり、介護ヘルパー（2級）の資格を取得し、介護の仕事につきましました。

最初は、介護の難しさに悩み、他のスタッフのみなさんに助けをもらいながら少しずつ慣れていきました。介護の仕事が続けていく中で、短期入所や訪問介護・看護など多種多様なサービスがあり、また、利用者にあったサービスが提供できる様、ケアマネジャーの役割が大切なことを思い現在にいたりました。

現在、要介護3（アルツハイマー）の義母の介護をしながら仕事を続けていますが、福祉とは、いかに利用者、家族の方に満足していただくかが大切だと思えます。これから、ケアマネジャーとして、利用者、家族、各事業所との連携を大切に、利用者やその家族の方が安心して生活できるよう微力ながら頑張っていきたいと思えます。

## 一瞬一瞬を大切に



たちばなデイサービスセンター  
生活相談員 甲斐 悦子

私は二〇余年福祉とは全く縁のない仕事に就いていましたが、介護の仕事に憧れ、一念発起して専門学校を門をくぐり、念願の介護職に就く事ができました。特養、特定施設を経て縁あって一昨年十一月に開所した「たちばなデイサービスセンター」の相談員をさせていただいています。不安ととまどいの日々ですが、周りに支えられて今日に至っています。

利用者の「ありがとう」の言葉と和やかな笑い声にも救われています。認知症のある方々でするので、得意の歌をうたいゲーム等で楽しく過ごされても、自宅に着かれたら「今日はどこにも行かんかったよ」とおっしゃいます。が、私達と楽しく過ごされた「時」は確かに存在しています。人生の先輩として、職員に貴重な言葉を教えとして残して下さい、私達は宝物として受け止めます。その一瞬一瞬を大切にしてい行く事が信頼関係へと繋がると思っています。手を振り笑顔で帰って行かれる利用者を見送りながら、この光景がいつまでも続くことを願います。

認知症であっても住み慣れた自宅での生活が継続できるように、ご家族や地域の人々とのつながりを大切に、安心して普通の暮らしが出来るように支援して行きます。利用者「あそこは楽しい所」と思っているデイサービスに…。そして自由に好きなことをして存在感を持って生き活きと過ごして頂ける環境づくりに職員が一丸となって努めていきたいと思えます。

## 地域密着に思う



きんかん小規模多機能ホーム  
管理者 木山 里代

昨年三月桜の花と同時に「きんかん」がオープンして、今年桜の花の季節で一周年を迎えます。地域の方々が待ち望んでおられた、地域密着型の小規模多機能ホームです。落成式の時に、故理事長が、「このきんかんは皆さんに差し上げます。どんどん使って下さい。」と挨拶されました。その言葉通りに地域の方々が見学に来られ、多い時には近くの方が近所の人を誘って、日に何度も来られるということが二ヶ月近く続きました。

オープンと同時に利用された方が一名から現在二十名、通い一五名の定員が一日一五名利用される日もあるようになりました。泊りも九名定員のところが常時六名、週に一日は満床になる日があります。利用者も初日は不安そうな顔をして、玄関から中に入らないと言って、外で過ごした方もいらっしました。一日中職員が付き添い、地道な関わりをした結果、今では「家に帰らない。」と言って動かず、玄関で押し問答の末にやっと車に乗ってもらったこともありました。

利用者が楽しんでもらえるようにとドライブを月に何回か計画し、堀切峠・平和台公園・初詣・花見・柿ぢぎり等に出掛け、気分転換をしたり、園に色々なボランティアの方を招いたりして、喜んでもらっています。

今後私たちは、職員皆で力を合わせ、知恵を出し合い、地域を巻き込み明るく楽しい「きんかん」づくりに邁進していきたいと思います。





# しんあい歌壇

毎月一回、ケアハウスシャトルで行われている短歌会で発表された短歌の中から、いくつかをご紹介します。作者は、シャトル、裕生園及び信愛園の入居者の方々です。(氏名五十音順)



伊藤一彦先生(中央)と短歌会参加者のみなさん(平成21年10月)

あと五年かいだんのぼる百までは

生きていきたい九十四

岩切シチ

宝石の如き「イクラ」を大根の

膾に盛れば器に映え旨し

緒方信子

ピンク色の和洋菓子のような寒つばき

まさに寮母のやさしさに似る

緒方信子

酔芙蓉初春の陽にくるい咲く

せせらぎの音聞きつつ歩く

桐山みつゑ

久方の光りを浴びて祝うかな

今年こそやる気を出して励み努めん

下田欣吾

女房と鬼が仲良く居すわりて

亭主が逃げ出す節分の夜

下田欣吾

新しき道を求めて孫達の

帰りくるあり出でゆくもあり

花田暢子

みんなみの弥生の田植にとまどいぬ

雪を見ぬまま三年すぎたり

花田暢子

たなばたに雨々ふれのねがいごと

ついでに飴も降ってくれ

福本 栄

今しばし百まで生きようと思いに

数えてみたらまたビックリ

福本 栄

紫陽花は恵の雨を受けており

浴衣の似合う娘さんかな

松本マサ

夫去りもう十年は過ぎたるに

ぬくもりのある手枕恋し

松本マサ

風かおり運動会のボール送り

受けて渡して笑顔も渡る

森田琢恵

枕辺にぬぎたる服を重ねおく

手が覚えている七十余年

森田琢恵

『ひこばえ』第六十二号〜第七十一号のなかから

『しんあい』編集部が選びました。



平成22年1月14日(木)、手話講座修了式で手話であいさつをする楠元ケアマネジャー(県立聴覚障害者センターにて)

手話のできる職員養成講座「聴覚障害者社会参加促進事業」の修了式が県立聴覚障害者センターで行われ、たかおか居宅介護支援センターの楠元ケアマネジャーが修了者を代表して手話であいさつを行いました。

裕生園の職員を中心に辰元グループの10名の職員が手話講座を修了しました。

## 編集後記

辰元圭子園長が冒頭のあいさつの中で述べているように、平成二十一年(二〇〇九年)は大きなチエンジの年でした。ちようど、阪神大震災があつた平成七年(一九九五年)がそつであつたように、平成二十一年も、あとから振り返つた時に「あれが大きな節目の年だつた」と言われる年になるのではないのでしょうか。信愛会も辰元忠理事長が亡くなり、信(まこと)新理事長にバトンタッチされました。良き伝統を受け継ぎ、新たな伝統を創り出していくため、みんなで力を合わせて行こうと思ひます。